

彙報

雑誌名	三重大大学日本語学文学
巻	12
ページ	168
発行年	2001-06-24
URL	http://hdl.handle.net/10076/6567

彙報

(二〇〇〇年)

六月二五日 三重大学日本語学文学会大会

研究発表

「飛鳥」について

本学大学院生 加藤 千恵

延慶本平家物語の「のみ」と「ばかり」について

―限定用法における上接語の語性の検討を軸として―

本学大学院生 下野 ゆかり

講演

仮想研究室の仕組と利用法

本学教授 濱 森太郎

七月 一日

四年生研究発表会

十月 七日

三年生研究発表会

十一月十一日

四年生論文中間発表会

(二〇〇一年)

二月十三日

卒業論文口述試験

三月二六日

三重大学卒業式・大学院修了式

四月二五日

研究室ガイダンス

(二〇〇〇年度卒業論文題目)

植田 勇司 安部公房論―「社会」という名の「迷路」―

杉本佳奈重 萩原朔太郎研究―作品への原動力―

棚橋美加子 芥川龍之介研究―初期作品を中心に―

中野 香苗 坪田譲治研究―坪田文学、その確立と本質について―

難波 啓子 「古事記」における弟橘姫説話について

松本佐枝子 樋口一葉研究―「奇蹟の期間」を中心とした、後期一

葉文学の一側面について―